

今年の大型連休は、天皇陛下の「即位と新元号」の祝賀ムードに包まれた。日本国民の皇室への深い尊敬が改めて明らかになつた。10連休という異例の長期休暇の中、「バケーション」の元々の意味合いである、心を空っぽにする感覚を味わつた人も多かったのではないだろうか。

しかし、10連休の設定については、必ずしも皆がうれしかつたわけではない。主婦はうれしくない方が多数派だったといふ調査もあつた。4割を超す人々が収入減や

経済サプリ 早稲田大
大学院教授 川本裕子

早稻田大學院教授 川本裕子

投資機会奪う市場10連休

業務へのしづくせを心配していた。多くの病院や保育園はお休みにな

市場の休場は結果オーライではあった。しかし、日本企業に対する投資機

り、ハンディがある人がリハビリ施設の連休で体調を崩すという記事も見た。そもそも、日本の株式会議が大きく奪われたことに、経済界が無関心なのに気がなるところだ。

日本は祝日が年間16日と国際比較の中でも格段に多い。「同調圧力」が強く休みにくいので、祝

電気、水道、ガス、ご
み収集、高速道路など生
活インフラは自然つらう

取引市場は通常の土日以外も休みが多く、今年の本業日は5日間で及ぶ。この休みは二つある。

活用して当然のように稼働していた一方で、金融は一部の銀行と外國株の取引を除いて全面的に休みだつた。

休業日は25日間に及ぶ
一方、ニューヨークは年
間の日間、クリスマス時
期でも閉めるのは12月25
日のみ。同時期、ロンド
ン市場でも2日半閉める
だけだ。これでは海外に
の歩みは止まぬ。

祝日でも金融インフラ
を動かしたり、祝日を減
らしたりして皆が交代で
休みを取つたりする働き
方改革が本来目指すべき
方向だろう。